

はこねさん 箱根山組合の視察研修を受入れました！！ ～箕面ふれセンなどの活動ノウハウを伝授？！～

箕面森林ふれあい推進センターは、静岡県三島市の箱根山組合からの要請により、平成30年3月15日(木)から16日(金)の2日間、視察研修を受入れました。

箱根山組合は箱根西麓(静岡県側)の山間部の土地(財産区財産:約2,000ヘクタール)を管理されている組合ですが、返還された一部の山林をフィールドとして、「森のたねまき」という団体が小学生以上の子ども達を対象に実施している森林環境教育「森の楽校」を後援されており、当日は組合職員2名、森のたねまき6名の合計8名が遠路にもかかわらず参加されました。

受入れ体制は、当センター職員4名と、NPO法人みのお山麓保全委員会1名、NPO法人里山倶楽部2名にも視察場所の説明者としてご協力をいただきました。

3月15日は、①近畿中国森林管理局1階の展示ギャラリーにおいて、展示物を利用して当センターの全体的な取組みを紹介、②箕面国有林に移動し、森林環境教育プログラム「森の探検隊」の説明やポイントを案内した後、森林ESDやシカ被害対策等について講義を行いました。

昼食後は、箕面ビジターセンターに移動し、③みのお山麓保全委員会の高島事務局長から、ビジターセンターの展示物の説明や山麓保全委員会の企画事業の紹介等をしていただき、初日を終了しました。



参加者からは、箕面ふれセンの取組みについて、各団体と連携し、フィールドを活かしながらのプログラムなど大変参考になった。また、自分たちが何処までできるか分からないが、シカ対策については大変興味深いものがあった。

また、みのお山麓保全委員会の取組みについて、取り組まれている規模の大きさに圧倒されました。組織の大小の差はありますが、みのお山麓保全委員会さんがいかに地元・地域と行政のパイプ役を担っているのかを知り、私たちも地元・地域に貢献できる取組みに繋がりたいと感じました。また、ビジターセンターも大変興味深く、楽しく拝見させていただいた。などの感想をいただきました。



3月16日は、南河内郡河南町の里山倶楽部へ移動し、里山倶楽部の本拠地や活動地を見学しながら、西村代表から取組み等について丁寧に説明をしていただき、昼食は西川副代表の米粉入り手作りピザなどを全員で手伝い、和やかな時間を過ごしていただきました。

参加者からは、里山倶楽部の長年の地域貢献と実績、その歴史の深さに感嘆しました。里山倶楽部さんをはじめはボランティア団体からスタートし、今に至るまでのスタッフや会員のモチベーションの持ち方など、色々なお話を聞いたのは大変有意義だった。などの感想をいただきました。

当センターでは、今後も大阪府下のみならず他府県からの視察研修等を可能な限り受入れることにより、センターが地域と連携しつつ取り組んでいる森林環境教育(森林ESD)などを広く普及させて行きたいと考えています。

